

亜細亜友之会外語学院在学体験談

聂頤

皆さんこんにちは、聂頤です。湖南師範大学中国語文学専攻を卒業し、来日後、亜細亜友之会外語学院の教師の方々のご指導を受け、中央大学大学院文学研究科に合格しました。経験を共有することは言うまでもありませんが、ここでは 2 年間の試験期間中の心の旅を振り返りたいと思います。

2019 年の春、私は日本への留学を決意しました。新型コロナの影響によって入国できなくなってしまった時期でした。自分の専攻は日本語ではないことや、外国で勉強するのは簡単ではないことを知っているのに、不安と期待でいっぱいでした。

2020 年の冬、私は初めて亜細亜友之会外語学院の教室に足を踏み入れました。ほぼゼロからのスタートだったので大変でした。外国での勉強生活ですが、石川先生、申先生、臧先生の丁寧な配慮のおかげで、私は生活に何の心配もなく、気を散らすことなく日本語の学習を始めることができました。

2022 年春、初めて日本語能力試験 N1 に合格しました。興奮すると同時に、信じられないと思いました。これは私一人ですることではありません、日本語学習をご指導いただいた先生方に心より感謝申し上げます。優しくて親切な小野先生、優しくて素敵な棚橋先生、ユーモアのある福原先生、疲れ知らずの川井先生、説得力と説得力のある木村先生、几帳面で誠実な岩崎先生、知識豊富な宮原先生、真面目な久保先生、教えるのが上手な大澤先生、教えて下さったり疑問を解決してくださったりしてありがとうございました。日本語能力試験 N1 を無事に合格してから、大学院入学資格を得ました。それから本格的な大学院入試対策を行うことができました。

2022 年の冬は私にとって厳しくて暗い時期でした。複雑な手続き、差し迫った日付、そして進学プレッシャーで、私は不安になり、ずっと悩んでいました。出願の複雑な作業で頭が痛くなりましたが、幸いなことに大澤先生が資料の確認や情報の確認、提案などを丁寧にやって下さり、スムーズに出願することができました。急に研究計画書を修正することもよくありましたが、宮原先生からの修正と推敲を経て初めて自信を持って提出することができました。学業上のプレッシャーで自己否定に陥ることも多く、一度は諦めようかと思ったこともありましたが、幸いなことに、久保先生が進む道を指摘してくださいました、教師として生徒を受験に導くだけでなく、人生の道を歩む先輩たちから若い世代への心からの示唆でもありました。大学院に行く途中でこのような良い先生に出会うことができ幸運でした。

2023 年春、大学院からの入学許可書が届きました。途中、気持ちがいっぱい何と言っているかわかりませんが、感謝の気持ちしかありませんでした。ここでの 2 年間の学習の中に、私は熱心な教師に出会い、志を同じくするパートナーに出会い、夢の成果を得ることができました。ありがとうございました。